

# 長崎県美術館



長崎県美術館は、地域の活性化及び芸術文化活動の拠点として、優れた美術作品の鑑賞及び学習の機会を提供するとともに、創作活動及び作品発表等の支援を通じて、生涯学習に対応した文化的環境の整備を図り、もって新たな長崎県の文化の創出に寄与することを目的として、平成 17 年 4 月に開館しました。

当館では、より多くの児童・生徒にご利用いただくため、専門のエducatorを配置し、学校利用のためのスクールプログラムを作成しています。

利用の目的や生徒の状況等に応じたプログラムを当館エドyueーターと協議しながら作成することが可能ですので、学校・学級単位でのご利用をお待ちしています。

---

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

---

## DATA

- 住所：〒850-0862 長崎市出島町2番1号
- 電話番号：095-833-2110 FAX:095-833-2115
- ホームページ：<https://www.nagasaki-museum.jp/>
- 開館時間：10：00～18：00（金曜日・土曜日は20：00まで）
- 休館日：毎月第2・第4月曜日（祝日・休日の場合は火曜日休館）、年末年始
- 入館料：無料
- コレクション展観覧料：一般420円（団体340円）、大学生・70歳以上310円（団体250円）、小中高生210円（団体170円）  
※団体料金は15人以上 ※県内の小中学生は無料  
※障害者手帳等提示者及び介護者1名無料  
※開館の月曜日は団体割引料金で入場可（マンデーミュージアム割引）

- 企画展観覧料：展覧会によって異なります
- 駐車場：美術館（企画展、コレクション展、ショップ、カフェ等）をご利用の方は、近隣県営駐車場の料金割引あり（3時間まで50円/30分）

### ●アクセス

- ・路面電車「出島」電停より徒歩3分／「メディカルセンター」電停より徒歩2分
- ・長崎新地バスターミナルより徒歩5分／JR長崎駅より徒歩15分
- ・長崎港ターミナルより徒歩10分
- ・長崎自動車道（長崎IC）より、ながさき出島道路経由5分

### ●コレクション展

長崎県美術館の最大の特徴のひとつは、東洋有数の規模を誇るスペイン美術コレクションです。

「須磨コレクション」を核に、ピカソやダリといった優れたスペイン美術を多数収蔵しています。

また、明治期以降の長崎出身作家の作品や、長崎をテーマとした作品を数多く収蔵し、絵画、彫刻はもとより、現在美術や写真、デザインなど多様なジャンルの作品を紹介します。



### ●企画展

毎年、複数の大型企画展を開催しています。

### ●スクールプログラム

#### ・鑑賞プログラム

鑑賞プログラムでは、展示作品の自由鑑賞のほか、スタッフと一緒に会話をしながら鑑賞する「おしゃべり鑑賞」を行います。「おしゃべり鑑賞」とは、作品や作者についての一方的な解説ではなく、コミュニケーションを通して作品を鑑賞する方法で、作品の歴史的背景や理論を知ることが第一目的とはせず、作品を見て感じたことや考えたことを大切に、作品への興味を高めます。

#### ・表現プログラム

ワークショップ等により作品への興味、関心を深めます。

#### ・幼稚園・保育園向けプログラム

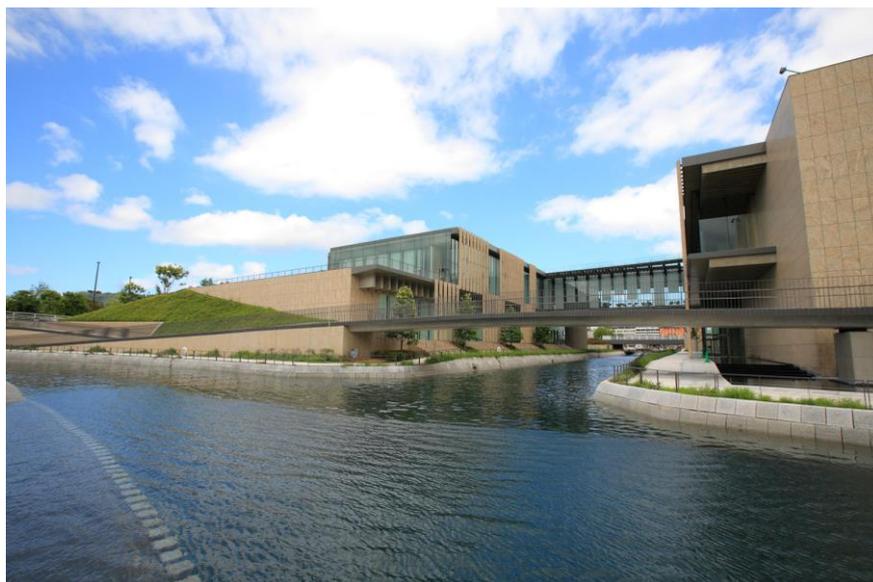
幼稚園・保育園のお子様親子に親しみやすいように、鑑賞と表現を組み合わせたプログラムです。遊びながら表現の幅を広げます。



## ●その他施設

県民ギャラリー、ミュージアムショップ、カフェ、ホール、講座室、アトリエ、屋上広場等

「長崎水辺の森公園」に隣接する美術館は、公園の一部としての機能も果たしています。ギャラリー棟の一部には盛り土を施したうえ植栽し、屋上も芝などで緑化して、公園との緑の連続を図っています。また、彫刻なども設置する屋上庭園には美術館の中からも外からも自由にアクセス可能。水辺に映える緑の中、自然を感じながら美術と親しんでいただけます。



# 長崎歴史文化博物館



「長崎歴史文化博物館」は、「海外交流史」をテーマにした博物館で、資料や美術工芸品を展示し、常設展示では、「西洋との出会い」「朝鮮との交流」「長崎貿易」「中国との交流」「長崎の暮らし」「長崎の美術工芸」「オランダとの交流」「近代化の魁・長崎」などの展示ゾーンを設けています。ここはかつて「長崎奉行所」があった場所で、敷地内にはその一部を復元。御白洲では当時の裁判の様子を再現した寸劇を上演しています（土日・祝日のみ）。そして、長崎に伝わる伝統工芸の体験工房や貸工房、資料閲覧室なども併設されており、観るだけでなく、歴史を体感できる博物館となっています。

---

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

---

## DATA

- 住所：長崎県長崎市立山1丁目1番1号
- 電話番号：095-818-8366
- ホームページ：<http://www.nmhc.jp/>
- 開館時間：4月～11月 8：30～19：00  
12月～3月 8：30～18：00  
12月30日～1月3日 10：00～18：00  
※最終入館はいずれも30分前まで
- 定休日：毎月第3月曜日 ※祝日の場合は翌日
- 入館料：無料
- 常設展示室観覧料：一般630円(団体500円)、小中高校生310円(団体250円)  
※団体料金は15人以上

- 駐車場：普通車 60 台 障害者用 2 台 大型観光バス 5 台 計 67 台
- 交通：路面電車：「桜町」電停下車、徒歩5分または「市民会館」電停下車、徒歩7分  
路線バス：「桜町公園前」下車、徒歩3分または「歴史文化博物館前」下車

## 1. 西洋との出会い～南蛮貿易とキリスト教～

Encounter with the West

「南蛮屏風」の世界を、長崎開港と朱印船貿易、海外交流の制限について拡大された展示ケースで紹介します。南蛮美術や朱印船貿易家たちの遺品、島原・天草一揆の舞台原城からの出土品などが見どころです。



南蛮人来朝之図  
(部分)

▲ ページの先頭へ

## 体験コーナー

Experience

子どもから大人まで楽しめる体験コーナーが質・量ともに大幅アップ!

「活版印刷の植字」「目利き体験」「龍馬と写真撮影」「モールス符号発信」など五感で長崎の歴史や文化に出会える新感覚の展示です。



▲ ページの先頭へ

## ● 長崎奉行所関連展示

長崎奉行所の成立や変遷を、絵図面や出土品などを通して紹介しています。



#### ◎長崎奉行の職務

長崎奉行は、行政・司法・外交・貿易・軍事全般とキリシタン・密貿易の取り締まりなど、多岐にわたる職責を担っていました。その職務内容を紹介しています。

#### ◎犯科帳の世界

「犯科帳」とは、長崎奉行所の判決記録集のことです。この中から、密貿易やくんち、ペーロンなどの年中行事に際して起こった事件を取り上げ、わかりやすく紹介しています。

#### ◎歴代長崎奉行

127代を数える歴代長崎奉行を紹介するとともに、遠山景晋（遠山の金さんの父）をはじめ、歴史に名を残した奉行の業績などを、在任した時代背景と照らし合わせながら紹介しています。

# 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム



「香港上海銀行長崎支店」は、明治37年に竣工し、昭和6年の支店閉鎖後は、大浦警察署や長崎市歴史民俗資料館として長く市民に親しまれてきました。平成2年に国の重要文化財に指定され、平成7年、建設当初の姿に復元されました。翌年、「長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館」として開館、平成26年には「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム」を併設し、リニューアルオープンしました。

異国の香りが漂う館内では、国際貿易港長崎が日本の近代化に果たした役割や、長崎出身の実業家・梅屋庄吉と孫文との友情を中心とした海外交流の歴史を学ぶことができます。

---

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

---

## DATA

- 住所：長崎県長崎市松が枝町4番27号
- 電話番号：095-827-8746
- ホームページ：[http://www.nmhc.jp/museum\\_hsb/](http://www.nmhc.jp/museum_hsb/)
- 開館時間：9時00分～17時00分（最終入館は20分前まで）
- 休館日：毎月第3月曜日 ※祝日の場合は翌日
- 入館料：一般300円(団体240円)、小中学生150円(団体90円)  
※団体料金は15人以上
- 駐車場：なし
- アクセス：路面電車：「大浦天主堂」電停下車、徒歩3分  
路線バス：「グラバー園入口」下車、徒歩1分

◆1F

銀行として使用されていた当時の雰囲気伝える展示と、異国の香りが漂うホールで小音楽会や小規模の講演会等が開催できる多目的ホールです。



◆2F

中国革命の父孫文とその革命を支え続けた長崎出身の実業家・梅屋庄吉の国境を越えた友情の歴史、唐人貿易が行われた江戸時代から深いつながりを持つ華僑の人々の、明治以降の長崎での活躍ぶりを紹介します。



◆3F

西洋と東洋が交ざり合う国際貿易港長崎。交通・通信網の重要な拠点都市であった上海と定期航路で結ばれ、海底通信ケーブルが敷設されて世界とつながるなど、長崎が果たした役割は大きい。居留地を舞台に活躍した外国人の暮らしや、建築家下田菊太郎の業績を紹介します。また、楽しく学べる体験コーナーもあります。

